



# 留学生と語り合う No. 76

## RKK ニュース (2019年夏号)

※ NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

### RKK 創立 20 周年を記念して

創立 20 周年記念プロジェクトチーム 深水 智明

RKK は、この 4 月に創立満 20 年（歳）を迎えました。創立 20 周年の記念を祝すと共にこれからにつなげる契機にしたいと考えます。それを形で表すべく、記念事業として、RKK に活気をもたらすであろう記念祝賀交流会の開催と RKK のこれまでの記録とこれからの希望をまとめ、末永く残す記念誌の作成という硬軟織交ぜた二つの活動を同時に取り組みました。記念祝賀交流会では、来賓の祝辞等のご挨拶、留学生、会員による記念誌原稿の発表による記念祝賀会、および料理を楽しみながら、留学生、会員、来賓が語り合いの中に懇親を深める交流パーティを開催しました。100 人を越す参加を得て、賑やかの中に意義ある記念祝賀交流会でした。このように留学生と会員が思いを発表し、意見交換が出来ることはこれまでの交流の賜物であると思われまます。一方、記念誌は、大学や行政の方々からのご寄稿、そして、留学生、会員の寄稿を合わせて 88 稿と RKK の 20 年をまとめた資料編を加え、82 頁のものになりました。記念誌には、これからの RKK への希望、これまでの学び等が込められました。この記念誌が RKK の歴史になると共にこれからの活動の参考になれば幸いに思います。来賓の方々からは、留学生と会員との話し合い、触れ合い様子を見て、RKK ではこれ程までに留学生との交流が育まれているとは！との感想をいただきました。



### RKK 20th Anniversary Celebration (2019.06.29)

Fukami Tomoaki (Project Team)

RKK had the 20<sup>th</sup> anniversary of its founding this April. We celebrate it and hope to take this opportunity to lead to our future. As a commemorative project, we held a celebration and published a commemorative magazine.

At the celebration, the guests made congratulatory speeches and the international students and RKK members made the presentations of the commemorative magazine. The exchange party was also held and the participants deepened their friendship while enjoying the meal. The celebration was lively and significant with more than 100 participants. The students and members expressed their feelings freely, which was the result of deep exchanges so far.

Meanwhile, the commemorative magazine consists of 82 pages with 89 articles contributed by those involved in the university and the administration, international students and members, which include documents compiling RKK's activities for 20 years. I hope that the magazine will be RKK's history and also help our future activities. The guests at the celebration were impressed with close relationships between students and members.

※This is a short summary of the original text.

(Translated by Azusa Sugita)

お知らせ

### RKK 第 70 回見学会のご案内

Information on RKK Tour Event No. 70

Date: September 11, 2019 (Wed.)

Meeting: 9:00 a.m. at JR Kawasaki Station

Visiting Places: Eco-Town Kaikan and two plants  
in Kawasaki Zero-Emission Industrial Complex  
for Kawasaki Eco-Town Plan

For details, scan this code and find the above event.  
Please register for participation.



## 創立20周年記念祝賀交流会の企画を担当して

創立20周年記念プロジェクト イベントチーム 前田 六生

記念祝賀交流会は、予想を上回る参加者を得て盛会裏に終わりました。イベントチームの企画に関わった者として安堵の胸を下ろしています。昨年1月から数回の選抜メンバー会合を経て創立20周年記念プロジェクトチームが発足したのは奇しくも6月29日でした。イベントチーム6人が最初に取り組んだのはスローガン策定です。各地区交流会スタッフを通じて集まった公募45作品を5作品に絞り込み、会員の人気投票にかけた結果、第一位に輝いたのが『未来に向かって、新たな一歩』です。未来志向を簡潔に伝える良いスローガンだと思えます。記念祝賀会と交流パーティーの二部に分けて策定したプログラム案に沿って10月からは記念祝賀交流会の会場探しが始まりました。参加者を80人(会員50人、留学生・招待者30人)、会員参加費を3千円/人としてしまいましたが、駅に近く、100人程度を収容できる会場、しかも限られた予算内に収まる場所は少なく、貸し会場専門業者のTKPにやっと辿り着きました。記念祝賀交流会当日が近づくにつれ、先輩諸氏を労い、会員、留学生同士が親しく語り合えるような場となるように、より現実的な内容に形作って行きました。主婦(夫)業、地域活動、仕事と、立場や活動状況の異なる女性2人、男性4人のメンバーの意見を集約することは容易ではありませんでした。しかし、長い間共通の目標に向かって活動する中で、相互理解が進み学び合えたことは貴重な財産です。また各地区交流会スタッフとの交流によって多くの方と知り合うことが出来ました。今回の会がRKKの次の10年、20年を考える契機になれば幸いです。



## RKK創立20周年記念誌を発行して

創立20周年記念プロジェクト 記念誌チーム 鈴木 次男

RKK創立20周年に当たりRKKの活動のこれからを考える契機にする為、又、これまでの活動を顧みる為、留学生会員・日本人会員・ご支援をいただいた方々より寄稿いただき、創立20周年記念誌として残すことにしました。記念誌の作成はスローガン「未来に向かって、新たな一歩」に基づき、記念誌のコンセプトの設定、寄稿テーマの立案、そして原稿収集と編集作業、更には記念誌の出来映えの要となる印刷会社の選定など多岐にわたり記念誌チームが一丸となって推進してきました。皆様からの寄稿文には一人一人の体験、学び、交流、そしてRKKに対する想いが込められていて、RKK20年の歴史が支えられてきたことを感じ取ることができました。記念誌への寄稿者数は留学生会員から48人、日本人会員から32人、そして来賓とRKK関係者から9人の合計89人の多くの方々から寄稿がありました。記念誌の内容は寄稿文が65ページ+資料編(RKKの歩み・思い出の写真他)計82ページが全カラー印刷の記念誌です。89人からの寄稿文はタイトルや寄稿文の内容から以下の7つのグループに分けて記念誌は編集されました。①創立20周年に寄せて、②これからのRKKに向けて、③RKKから得たもの、④日本で学んだこと、⑤留学生支援からの学び、⑥交流の楽しさと喜び、⑦留学生の夢や想い。



最後になりましたが、寄稿された皆様、原稿収集にご尽力いただいた各地区の皆様、ボランティア活動に貢献したいという印刷会社の多大なご協力により記念誌は作成されたことに深く感謝いたします。

# そうかい こんわかい かいさい RKK総会 & 懇話会を開催!

5月6日(休日)、かながわ県民センターにおいて、第10回  
通常総会が開催されました。創立20周年記念のスローガン  
「未来に向かって、新たな一歩」をめざし、本年度活動方針「ワ  
ンステップ・アップ」のもと、下記重点目標を掲げました。



- ・ 創立20周年記念事業の完遂
- ・ 幅の広い日本語支援活動と支援会員の増強
- ・ 文化・ファミリー交流パートナーシップの導入と文化交流分野の拡大
- ・ 留学生の関心の高い工場・社会見学先の選択と参加者募集方法の見直し
- ・ あらたな講師のもと、勉強内容を刷新した中国語学習
- ・ RKKニュース、ホームページの改善による広報の魅力度アップ
- ・ より積極的な就活支援活動の展開
- ・ 全員参加型RKKフェスティバル(スピーチ大会、文化祭)の実行
- ・ 地区交流会活動の充実強化

総会終了後、恒例のRKK懇話会が開かれました。テーマは、「留学生&日本での生活」でした。

ショートスピーチは、バングラデッシュ出身留学生のアブドル・マレックさん、中国出身留学生の馬蓉さん、童琳さん、日本人会員の藤縄裕子さん、村田威雄さん、岩瀬暢男さんが、ご体験やご意見をお話してくれました。今回は初めての試みとして、英語、中国語、日本語でのスピーチ、そして、グループ別の懇談も、英語、中国語、日本語の各グループに分かれて実施しました。結構多くの会員が、中国語、英語に親しんでおられるようでした。このRKK懇話会は、RKK会員が一同に会することができる数少ない機会であり、みなさんは、貴重な情報交換ができてご満足な様子でした。(萩原 記)

## りゅうがくせい かがやく よこはま かながわ みらい さんか 「留学生が輝く横浜・神奈川の未来」に参加して

留学生の日本での就職を促進するためのシンポジウムがありました。県内の大学、企業、自治体や地域ボランティア他が集合して、「横浜モデル」と名付けた独自の促進施策を展開してゆくに当たり、現在の課題を探り、「今、できることは何か」を200人近い来場者と講演者の交流の中で考えようとの会合でした。



「留学生就職促進プログラム」(文科省事業)で行われてきている本事業についての過去2年半の事業報告、及び支援事業者による「就職支援に一番必要なこと」の基調講演があり、続くパネルディスカッションでは留学生2人による就活成功および就活中現状の発表を交えた討論がありました。パネラーとして登壇された留学生(写真:朴芝英さん、RKK登録留学生)の発表では、なぜ日本で就職したいとの希望を抱いたのかについて、ストレートに気持ちを述べられ大変参考になりました。印象に残ったものとして、①留学生のキャリアアップ志向が日本人学生に比べ大変強く、就活場面に反映していること、②企業側の採用努力が求められること、即ち日本人学生と全く同じ採用基準、採用方法が通用しない

時代に変わりつつあり、グローバル視点での採用方法を求める必要があるとの意見がみられたことです。「横浜モデル」は企業本社が横浜にあることだけでなく、RKKのような地域貢献団体の存在、またその質と数が大きく作用するものと感じました。本会は2019年6月28日に横浜情報文化センターでおこなわれ、RKKからは4人が参加しました。(岩瀬 記)

## 留学生のたより

### RKKを通して言葉の壁がない学生生活

横浜国立大学大学院 MYAT PHYO HAN (ミャンマー)

私は、東南アジア地域の発展途上国であるミャンマーのヤンゴン出身の(MYAT PHYO HAN)ミヤツピョハンです。私の故郷、ヤンゴンはミャンマー最大の都市部であり、今ではインフラを中心にオールラウンドな開発で改善してきています。これは、都市イノベーションやインフラ整備を中心に日本に留学して勉強する原動力となっています。また、私が日本を選ぶ理由は、何十年にもわたって日本と私の国との間に良好な関係があることです。現在私は、横浜国立大学の工学部で、とくに交通計画を専攻しています。大学では講義やフィールドトリップを通して日本のバス運行システムについて多くのことを学びました。正直言って、昨年は私



の日本語のスキルや文化的マナーがよく分からなかったもので、何もかも一生懸命チャレンジをしました。最近では、生け花や茶道などの日本文化や伝統行事を体験しました。留学生としてだけでなく、同時にRKKボランティアサービスを通して日本語のスキルを向上させたいと思っていました。このサポートを受けて日本語の先生から私は、日本語の日常的な使い方を学び、先生の心からのサポートを通して、様々な情報やマナーを理解しました。そして、学生として、異なる文化や言語を学ぶことは自分の将来の夢を叶えるために重要なものです。だからこそ、RKKでサポートを受けるという選択は、言葉の壁やカルチャーショックに関わる困難を乗り越える力を与えてくれたと思います。最後に、私は、日本留学中に、RKKの心のこもった限りない支援に心から感謝し、

ボランティアの皆様に、大きな拍手を送りたいです。(原文のまま)

**新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！**

平澤映二（平塚市）、大塚みどり（磯子区）、脇坂麻亜子（泉区）

（敬称略）

# トピックス

## 『新入生歓迎会・日中交流会』に参加して

春と秋に行われます横浜地区中国留学生学友会主催の新入生歓迎会で、今春は初めて“日中交流会”が加わって行われました。横浜市技



能文化会館（中区万代町）において、6月1日に開催され、学友会長（呉華章さん）および来賓の挨拶に続き、『日中交流会』の目玉の一つとして文科省「外国人留学生就職促進プロジェクト」について横浜国大・横浜市大の取り組みを両大学および横浜市政策局によってスライドを使用するの紹介がありました。日本での就職を希望している留学生を尋ねる場面では、会場の70人の留学生から大勢の学生の挙手がありました。その後、RKK深水理事長による乾杯の音頭（写真）によって楽しい話し合いや楽器演奏の場面へと展開し、RKKニュース最新号の配布や留学生への一声の挨拶で始まる会話によって多くの方と懇親とRKKの紹介ができました。会話のできた新入生の殆どが将来は日本で就職したいと話しています。今回は交換留学生が比較的多く、昨秋来日し、今夏、帰国する短いスケジュールのために日本文化を多く体験していきたいとの話を聞きました。（岩瀬 記）

## KANAFAN 交流会に参加

神奈川県主催によるKANAFAN 交流会が6月6日（木）にJICA 横浜



で開催されました。この交流会は定期的開催され、神奈川で学び、生活する留学生のための交流イベントです。今回の主なプログラムは、黒岩知事の挨拶、箏の演奏（RKKの富志乃さん）、留学生支援団体の活動紹介（RKKはHP情報で紹介）等がありました。その間、立食パーティーで、留学生との懇談の場が設けられました。留学生の参加

状況は、おおよそ80人で、出身国はネパール、バングラディッシュ、インド、フィリピン、台湾等でした。学生の所属は日本語学校、専修学校等が多く、大学生の参加は少ないよう見えました。また、留学生支援団体の参加はRKKを初め、神奈川SGG、中国留学生援護会、かながわネパール人コミュニティ等々でした。RKKからは山崎さん、岩瀬さん、萩原（正）さん、深水が参加しました。留学生との交流では、参加留学生は日本語学習を始めて間もない学生も多く、日本語会話の勉強会の雰囲気もありました。今後、この交流会が留学生への支援・交流推進の力となることを期待します。（深水 記）

## フェリス女学院大学留生活発表会

7月16日にフェリス女学院大学にて留生活発表会が開催されました。台湾、韓国、中国、スロヴァキア、スペインからの5人の女学生で彼女たちは留学の意義、楽しさなどを日本語で熱く語っていました。スピーチの後にはスロヴァキアの民族舞踊も紹介されました。案内をいた



## 社会・工場見学

### A summer trip to the Toyokawa Inari Temple and the Akasaka Rikyu

横浜国立大学大学院 呉 林蔚 (中国)



Hi, guys! Nice to meet you. First of all, let me introduce myself. My name is Wu Linwei and I am from Chongqing, China. Since April, 2019, I have studied in YOKOHAMA National University to major in Economics. Up to now, I have spent 3 months in studying Japanese with my teacher Ms Mizunuma in RKK. Last month (23th, June), I went to the Toyokawa Inari Temple and the Akasaka Rikyu with RKK members and it was a meaningful experience.

We went to the Toyokawa Inari Temple for our first trip. Nearby Akasaka station, just a couple of hundred meters away, Toyokawa Inari Temple was easily identified by the red lanterns decorating its long earthen wall. The temple inside was also distinctive for the hundreds of red banners and the hundreds of fox statues. Different banners and statues represented different types of wishes. When I entered the temple, I felt a moment of peace and a hope of serenity.

Next, we went to the Akasaka Rikyu for sightseeing. We knew that Akasaka Rikyu was installed as a "Geihinkan" with western style to welcome state guests. The meadow that located around decorated a solemn Akasaka Rikyu. The interiors were carefully designed in birds and flower themes and they were extremely attractive and impressive.

Although the drizzle lasted the whole day, the scenery was still charming and we enjoyed a lot. These fine impressions will always remain in our cherished memories. (原文のまま)

### 第69回 豊川稲荷・迎賓館 見学報告(2019年6月22日)



当初は30名の参加予定だったが、当日になりキャンセルなどが発生し参加者は23名になりました。時々霧雨が降るあいにくの天気でしたが、予定の時刻に豊川稲荷の見学を終了し、迎賓館へは予約時刻の10分前に到着し、セキュリティチェック・チケット購入・音声ガイドの借用などの手続きを済ませ本館の見学をしました。見学Gは今回か

ら永作重夫さんにスタッフになって頂き3人体制になりました。また今回からハンズフリー拡声器を使用しましたが、案内が聞きやすいと好評でした。(山口 記)

## 会員募集中

RKKの活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。

入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。

詳しくは、Home Page (Web Site) [NPO RKK](#) で検索をお願いします。



## 私の日本語支援

優秀な留学生

北地区 岸野 任宏

企業で材料開発をしていた私は、日本語支援に少しでも自信を持てるよう、県立国際言語文化アカデミアで「日本語ボランティア講習」を受講していた。そこでRKKを知り、昨2018年6月入会し、現在2人の留学生のサポートをしている。中国からの留学生ルキヤさんは、当時横浜国大環境情報学府の研究生で大学院への入学を目指していた。「研究計画書」「筆記試験過去問題」「面接の受け方」等についてお話した。合格して現在大学院生である。また昨年10月より、就活を開始していた韓国からの留学生朴さん（同じ横浜国大経営学部3年生）のエントリーシートや面接対応について話し合った。早々と4月には2社の内定を取得、大手生活用品製造販売会社と乳幼児向け製品の製造・輸入販売会社である。ご両親の意見やもとの希望などに関連して、どちらを選ぶかに当たっての考え方の整理のお手伝いをした。二人とも優秀な留学生で、目前にそれぞれ「大学院入学」と「就活により内定取得」という課題を持っていて、見事その課題を達成された。どの程度、私の日本語支援が有効だったかは判らないが、キャリア・カウンセラー（産業カウンセラー）としての経験が少しでも役立ったとすれば大きな喜びである。これからの二人の活躍を見守っていききたい。

## グループ活動の紹介

### めいがくとつか 明学戸塚まつりに参加して

横浜国立大学大学院 張 恬(中国)

今年4月でRKK創立20年を迎えた節目の時に、明治学院大学の「戸塚まつり」で「Koto Concert 2019」の出演者として富志乃清愁先生と一緒に演奏させていだいて光栄である。今回の選曲については、「ひなづる」という難曲にチャレンジしたが、順調に進まずに悩んだ時もある。また、昨年に続き、2回目の参加であるが、本番まで不安や緊張でいっぱいであった。当日、RKKの先生方、「戸塚まつり」の参加者たちなど、大人数が来ていただき、私は更に緊張した。しかし、皆から親切な声を掛けられて、話しているうちに楽になった。周りの皆様の暖かいサポートのおかげで無事に本番を迎えられ、コンサートが終わった後は今まで以上の達成感を感じた。これからもたくさんの楽に触れて、たくさんの感動を味わっていききたいと思う。(原文のまま)



## ひらつかたなばた 平塚七夕まつりに参加して



梅雨期は雨の日が多くて、七夕祭りの日に何となく雨が止んだ、熱くない、いい天気だと思います。日本に来て初めて浴衣を着ました。そして、各国の皆様一緒に短冊に願いことを書いて、竹に飾りました。さすが関東三大七夕祭りの一つ、飾りはとても華々しいです。「令和」の文字を

書いた飾りが並びました。また万葉集「梅花の宴」を人形で再現しました。子どもたちを作った飾りも可愛いです。通路の両側でいっぱい屋台が出店されました。焼鳥とタコ焼きを食べました。屋台も楽しみつつ、七夕祭りも楽しみつつ、目いっぱい満喫しました！そして、最後に会場を戻って、RKKの先生たちと一緒に歌を歌って、とても感動しました。RKKの皆様が私たちのために下さったこと心より感謝しております。(原文のまま)



横浜国立大学 王 智毓 (中国)

## I have heard about the Tanabata Festival

I have heard about the Tanabata Festival since arriving in Japan. I have never participated any Tanabata Festival. Until I saw the RKK newsletter about this annual event in Hiratsuka. I decided to join this event since this is my last semester in Japan. To my surprise, it was so happening and interesting festival! I am glad to visit Hiratsuka for the first time. The Tanaba festival (also known as Star Festival) in Hiratsuka is one of the most prestigious annual events in Kanto area. On that day, when I was transiting in Yokohama station, I found that there was extraordinary crowd at the Tokaido line toward south. A lot of people dressed in Yukata. When arriving Hiratsu station in 22 minutes, the train suddenly become empty. Now only I realized most of the people were heading to Hiratsuka for the Tanabata Festival.



横浜国立大学 Yen Yang Law (Malaysia)

When I was looking for the RKK volunteer, I noticed there were many signboards. It was special signboards for the purpose of crowd control. The local ward office seems were well prepared for the huge crowd in these 3 days festival. After meeting the volunteer, he brought me to the RKK Tanabata Festival venue, which is located at Hiratsuka Community Center.



I was glad to change into Yukata. We, a group of international students were brought to visit the Hiratsuka Hachimangu and the Tanabata Festival main street. We all were excited and get attracted to the Tanabata decorations. We walked along the main street and took so much of photos. Toward the end of the program, we sang some traditional Japanese songs related to the Tanabata Festival. I had some fun and will bring my family to experience this one day, perhaps. (原文のまま)

## おもな活動 (2019/5 から 2019/7 まで)

### 通常総会・理事会・懇話会

◇5/6 サポートセンターにて、午前は理事会、午後は第10回通常総会が開かれ、本年度のスローガンは昨年を引き続き「ワンステップアップ」と決定。総会后開催された「懇話会」には「留学生&日本での生活」をテーマとして、留学生3人を含め、総勢44人が参加し、日本語、英語、中国語でのショートスピーチ、

懇談による情報・意見交換がなされた。

### 創立 20 周年記念祝賀交流会

◇6/29 RKK 創立 20 周年記念祝賀会および交流会を、TKP ガーデンシティ横浜にて開催。祝賀会には、来賓のご挨拶、記念誌発表、寄稿者のスピーチ、交流パーティでは、RKK のあゆみのスライド、参加者のスピーチやインタビュー、またビンゴゲームを楽しんだ。留学生 36 人、来賓および日本人会員 79 人の総勢 115 人が参加した。

### スタッフミーティング

◇6/15 午後、サポートセンターR604 にて 23 人のスタッフの参加のもと、2019 年度第 1 回スタッフミーティングが行われ、本年度のスタッフ体制を確認した。その後、恒例の活動グループ、地区交流会、委員会それぞれから、本年度年間計画を主体に C&C(報告・連絡そして相談)が実施された。また、RKK 創立 20 周年記念事業プロジェクトチームから準備状況の報告あり。

### 活動グループ

- ◇日本語支援 G：10 月、11 月の日本語の教え方講習会の準備をスタート。
- ◇文化・ファミリー交流 G：7/6 の湘南ひらつか七夕まつりには留学生 17 人、日本人 17 人が参加。
- ◇中国語学習 G：斎 晏蔚 講師のもと、6 月から 8 月までの新たなコースが始まる。
- ◇社会・工場見学 G：6/22 迎賓館、豊川稲荷見学に 23 人が参加。

### 地区交流会

- ◇東地区：6/9 に交流会と懇親会を実施。9 人参加。
- ◇西地区：5/26 の明治学院大学「戸塚祭り」に参加。お琴の演奏会を開催。
- ◇南地区：5/31 に横国大留学生会館でのスプリングパーティーに参加。
- ◇北地区：7/20 に地区交流会を「みなくる」で実施。12 人参加。
- ◇中央地区：6/8 に留学生 2 人を招待し地区交流会/懇親会を実施。11 人参加。

### 委員会

- ◇会員委員会：6/15 マッチング検討会を実施。留学生名簿の更新作業。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 76 号の編集。HP に「留学生支援情報」を新設。
- ◇就活情報支援委員会：6/11 に委員会を開催。就活サロン運営及び就活情報のメール配信。
- ◇企画委員会：夢ファンドからの助成推進。会議室予約システム対応。
- ◇会計委員会：収支決算・事業計画予算作成。
- ◇事務室：事業計画・議案書作成・総会開催。NPO 事業報告書の作成と提出。「しおり」の編集。

## 就活情報支援委員会からのお知らせ

### 地区交流会での就活話題を生かした活動に向けて

(就活情報支援委員会)

創立20周年を迎えて新たな一歩を歩みます——留学生の日本での就職に関する意識の大きな変化に即して、本年度より地区交流会での話題を生かした活動に積極的に取り組みます。

卒業後も日本に滞在し専門知識を生かして活躍したいと願う留学生が増加しつつあり、留学生の凡そ半数程度にまで増えそうとの様子です。従来の3割強ほどからの大幅な増加です。留学生自身の人生設計による希望の増加のほか、留学生の就職を促進する各種プログラムが後押ししていることも増加を助けています。

一方、卒業後には母国に帰国して活躍するプランを抱いている留学生もこれまでと同様に多数いることを忘れてはなりません。RKK はどちらの希望を抱く留学生であっても変わりなく語り合いを進めている訳ですが、今後はどちらかという比較的手薄ではなかったかと思われる日本在留(就職)希望の留学生に対する心くばりを増やしてゆくような活動が求められます。活動は会員によることとなりますが、委員会ではそのような会員に向けての情報の提供を行っています。留学生が日本で就職したいとの希望を抱いていたとしても、語り合いの中で気づくことができない時もあります。就活支援情報を是非活用して下さい。(岩瀬 記)

## 地区からの便り

### 中央地区交流会 -留学生と楽しい食事会-

中央地区 畔取 孝

2019年度最初の中央地区交流会を6月2日(日) 県民センター「かなファンステーション」で、午前の交流会と午後の昼食会の2部形式で行いました。今回は、新人の諸岡さんを迎えることができ、また、久々に調(しらべ)さんが参加され、いろいろな情報交換ができました。ここ数年、6月の交流会では、留学生を招待して食事会を開いています。今回は、横浜国大大学院生で新疆ウイグル出身のデアラムさん、そして、中国山西省出身で横浜国大大学院研究生の支さんに参加してもらいました。お二人には、午前の交流会が終わる頃に来ていただき、自己紹介のあとに横浜ルミネ7階「京都おぼんざい(和食)石堀小路」に向かいました。今回は、デアラムさんがムスリムの方でしたので、豚肉料理を避ける必要がありました。そこで、岩科さんが太鼓判を押して選んでくれたのが、ランチが何種類もあるこの京都和風のお店でした。そもそも、このお店が和風であることで、ほぼ決定していたのですが、ちょうど今回の要望にも添うものでした。



留学生とは、食事をしながら普段の生活、専門の研究をたずねたり、出身地の食べ物を紹介してもらったり、そして日本人会員からは、日本の食べ物の説明などの話しも出て、楽しい会話ができました。

今年も留学生との交流を楽しみながら、地区活動費を活用させていただきました。ごちそうさまでした。・・・間違いました、ありがとうございました。

## 留学生の皆さんへ／For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchange....

Contact: 津田(Tsuda) e-mail [sakura\\_tsudakei@ybb.ne.jp](mailto:sakura_tsudakei@ybb.ne.jp)

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan this code for getting application form.

## NPO 法人 留学生と語り合う会

連絡先 : 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール : [rkk1025office@yahoo.co.jp](mailto:rkk1025office@yahoo.co.jp) Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集 : RKK 広報委員会 夏号担当 西岡誉富 July. 30, 2019



無断転載をお断りします。